特集 シリーズ㉑
農業水利施設内の「ゴミ」問題

現地踏査「皆瀬川・成瀬川の上流部の受益地でもゴミ問題に苦慮」

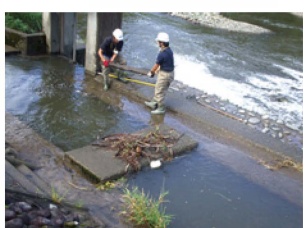
平成27年9月14日（月）、稲川土地改良区受益地で、土地改良区が抱える農業水利施設内のゴミの問題について意見交換を行うとともに、ゴミの実態を踏査した。

土地改良区事務所で阿部事務局長が「我が土地改良区は皆瀬川・成瀬川の上流部が受益地となっており、夏場の水不足は問題ないが、流木・枝折れや落葉のゴミが多くて見られ、近年は藻の発生により除塵機のスクリーンに絡み、維持管理に苦慮している」と話された。また、水利状況の確認のため、灌漑期及び降雪期は土地改良区の職員が毎日受益地内のパトロールを行い、組合員が安心して農作業に従事する環境づくり並びに地域住民が快適に流雪溝を利用できる生活環境づくりに努めているとのことでもあった。

現地の様子

幹線用水路与惣右工門堰
分水工のゴミ除去作業状況

幹線用水路新処堰
流末付近ゴミの状況



黒坂堰頭首工の流木撤去作業状況